

不発弾処理で新幹線 6月一時運休

4月12日 21時25分



東京・北区で見つかった不発弾を処理するため、今年6月、新幹線の東京・大宮間が一時運転を見合わせ、およそ50本の列車に影響が出る見通しです。

今年3月、東京・北区の国の研修施設の建設予定地で、長さおよそ40センチ、直径8センチの、旧日本軍の不発弾1発が見つかりました。

不発弾の処理は、今年6月4日に行われますが、現場付近のJR各線を含む半径100メートルの範囲が、念のため立ち入り禁止となります。

このためJR東日本は、処理が行われる午前11時から午後2時ごろまでのおよそ3時間、新幹線の東京・大宮間の運転を見合わせることを決めました。

これに伴って、東北・秋田・山形・上越・長野の各新幹線の、上下合わせて6本が運休となり、およそ50本については、発着駅が東京から大宮に変更されます。

また、新幹線と並行して走る京浜東北線が東十条と品川の間、湘南新宿ラインが大宮と新宿の間で運転を見合わせるということで、新幹線を合わせると、およそ9万人の利用者に影響が出る見込みです。

一方、北区によりますと、立ち入り禁止区域の中に住宅はなく、住民の避難は行わないということです。